

次期ごみ処理施設

ニュースレター

No6 2004.3

ごみ処理の流れ

ごみ処理費用

ごみの分類



塩谷広域環境衛生センターの全景

燃えるごみを処理するしくみ



みなさんのうちから
集められたごみは
このセンターでまとめて
処理しているのよ。

①ごみ計量機
しゅう集車で運ば
れてきたごみの量
を計ります。

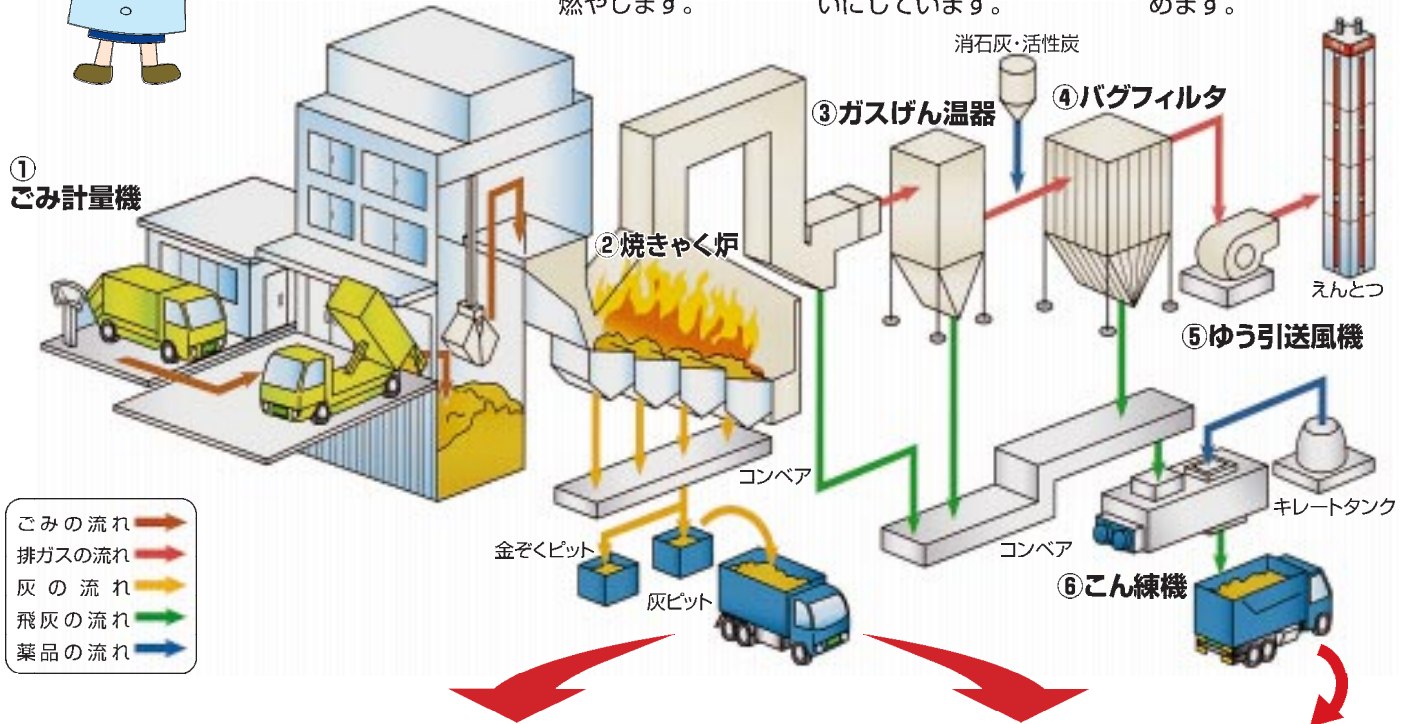
②焼きやく炉
ごみを800℃～
950℃の高温で
燃やします。

③ガスげん温器
バグフィルタに流れる排
ガスの温度を200℃以下
に冷やします。

④バグフィルタ
フィルターで排ガスの中の
飛灰を取って排ガスをきれい
にしています。

⑤ゆう引送風機
きれいになった排ガス
はゆう引送風機によっ
てえんとつから出てい
きます。

⑥こん練機
集められた飛灰に水と
薬品をまぜ合わせて固
めます。



- ごみの流れ →
- 排ガスの流れ →
- 灰の 流れ →
- 飛灰の 流れ →
- 薬品の 流れ →

◆路盤材などの原料
小山市



◆埋め立て処分
福島県小野町



塩谷広域環境衛生センターは一般廃棄物中間処理施設

上図でも示しましたとおり、塩谷広域環境衛生センターは一般廃棄物の「中間処理施設」です。

施設へ搬入されてくる可燃ごみの中からは、最終処分しなければならない焼却で発生する「焼却灰」や焼却から発生する排ガスからの「飛灰」があります。塩谷広域圏内では最終処分の処理施設がありませんので、これら最終処分をしなければならない処理残渣を、塩谷広域圏外の民間業者に処理費用を支払い埋め立て処分や路盤材の原料として、最終処分の処理委託をしています。

ごみ処理費用（可燃ごみ）



焼却施設で処理する可燃ごみの処理経費はどのくらいかかるの？

	処 理 費 用
平成12年度	3億4,600万円
平成13年度	3億8,300万円
平成14年度	4億8,100万円

過去3年の平均は年間で

約4億円

ごみの減量化・資源化は**急務**です。



〔処理経費の内訳〕



焼却灰処理委託費はどのくらいかかるの？

	処 理 委 託 費
平成12年度	6,100万円
平成13年度	6,900万円
平成14年度	7,000万円

過去3年の平均は年間で

約6,600万円

各自の意識で減らせます。



焼却炉の補修費はどのくらいかかるの？

	補 修 費（ 炉 ）
平成12年度	5,700万円
平成13年度	6,500万円
平成14年度	8,100万円

過去3年の平均は年間で

約6,700万円

プラスチック・ビニール類の削減が大切です。



ごみの分類

ごみ分類表（単位：％）

品目	年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度
紙・布類		51.1	53.0	48.3
プラスチック・ビニール類		30.0	27.3	27.2
木・竹・ワラ類		6.9	7.9	4.9
厨芥類（生ごみ類）		5.2	8.6	16.2
不燃物類		5.2	0.9	1.9
その他		1.6	2.4	1.6



焼却炉内の補修工事

一般家庭や事業者から搬入される可燃ごみの分類表です。「紙・

布類」や「プラスチック・ビニール類」の可燃ごみの割合が非常に高く、特に燃烧時高カロリーとなってしまふ「プラスチック・ビニール類」については、焼却炉の短命化や補修費の増大等を招くこととなってまいります。

住民からの声

今、ごみの減量化・資源化は、地球規模で考えていかなければならなくなり、大きな問題となっている。

右肩上がりのごみの排出量はとどまることなく増加している。

私達の行政区では、10年前に「ボランティアみらい」というグループを立ち上げ、その活動の一部にアルミ缶の分別回収を続けている。

「捨てればごみ、活かせば資源」と言われて久しいが、小さな力が大きな輪となって広がっていくことを強く望んでいる。



高根沢町在住
加藤 晴一さん



矢板市在住
村上 敏子さん

私達の家庭から出るごみを分別すると資源化されるものがたくさんあります。

びん類、新聞紙、雑誌、アルミ缶、発泡トレイ、ペットボトル等々。生ごみの堆肥化も進められており、ごみの分別は焼却ごみの量を減らし、焼却施設の安全維持にもつながります。

各地域、団体、家庭でごみの減量化・資源化について話し合う場を持ち、声をかけ合って積極的にごみの分別をしていきましょう。

買い物には「レジ袋何度も使えばマイバッグ」も励行しごみの減量化を図りたいものです。

シンポジウムの開催について

「これでいいのかごみ問題－未来のために考えようごみのこと」

塩谷広域圏内各市町では、宇都宮大学の先生方を交え下記の日程によりシンポジウムを開催します。各会場お気軽にご来場ください。

入場無料（各会場10時00分～12時00分）

日 程	開催市町	場 所	定 員
5月23日(日)	矢 板 市	矢板市文化会館小ホール	150名
5月30日(日)	氏 家 町	氏家町公民館ホール	100名
6月 6日(日)	高 根 沢 町	高根沢町改善センター	100名
6月13日(日)	喜 連 川 町	喜連川町公民館	50名
6月20日(日)	塩 谷 町	塩谷町自然休養村センター	50名

「ニュースレター」及び「ごみ処理行政」に対するご意見・ご提案をお気軽にお寄せください。また、塩谷広域行政組合のホームページも開設しております。

※ホームページアドレス <http://www.shioyakouiki.or.jp/>

問
い
合
わ
せ
先

〒329-1572 栃木県矢板市安沢3622番地 1

塩谷広域行政組合 次期ごみ処理施設整備担当 鈴木・印南
TEL0287-48-2760 FAX0287-48-0463